

第2回 中心市街地グランドデザインまちづくりワークショップのまとめ
ワークショップで出された魅力と問題点から考えられる取組方針（案）及び施策（案）

目指す姿 ／まちづくりの方向性	WSで出された魅力	WSで出された問題点	取組方針（案）	施策（戦略プロジェクト）（案）	【取組内容（展開方向）】
訪れたいまち 【まちづくりの方向性】 地域資源や景観を楽しみながら、歩いてみたくなるまちなか	・若い世代が多い ・こまきこども未来館は子どもに魅力がある ・シンボルロードは歩道も広く、美しい ・歴史的な社寺が多い ・地域に豊富な歴史資源がある ・小牧山（観光、緑、城下町）がある	・飲食する場所がない ・若い世代に対する魅力が少ない ・新しい公益施設の情報発信が不足している ・小牧の歴史に関する市内外に対する情報発信が不足 ・歴史、文化の全体像がとらえづらい ・れきしるこまきの更なる内容の充実が必要 ・歴史、文化に関する情報発信が不足している ・歴史にからんだ小道が少ない ・散歩道がない	まちの魅力があふれ、居心地が良く、歩いて楽しむことができるまちづくり	1-1 歩道・広場空間の魅力向上	① にぎわい広場で、若い世代が関心を持ってもらえるように若者が企画したマルシェやまち歩き等のイベントを開催 ② 飲食や休憩が出来るようなオープンカフェやパークレット等の設置 ③ 冬季のイルミネーションのような季節ごとのイベントの実施
				1-2 歩いて楽しい歩道ネットワークの構築	① 小牧駅から小牧山までの距離感を短くするまちづくりの工夫（街並み形成、歩行者支援交通手段の導入） ② 小牧駅から小牧山を結ぶ拠点として旧図書館跡を活用する ③ 石碑や道標などを活用した空間づくり ④ 路地空間等へ特色のある飲食店舗等の誘導 ⑤ サインや案内誘導設置等の歩きたくなる空間整備 ⑥ 小牧駅から小牧山までつながりのある景観づくり（やすらぎ道の景観形成の継続） ⑦ 若者が使用するアプリを活用して、おしゃれな紹介動画を載せる
				1-3 歴史・文化資源の活用	① 秋葉祭の山車の保存、展示方法の検討 ② れきしるこまきを拠点とした情報発信の強化 ③ 社寺を市民の交流の場として活用 ④ 歴史周遊まち歩きルートの設定や、神社仏閣などの見学資料の配布 ⑤ 歴史を物語るシンボルモニュメントの設置 ⑥ 駅前空間を活用して小牧山城や城下町でテーマにしていたミニ公園づくり ⑦ 歴史的な番組との連携、マスコミの活用 ⑧ 「中央図書館」と「れきしるこまき」との連携による小牧山や信長等に関するSNSネットワークの構築

目指す姿 ／まちづくりの方向性	WS で出された魅力	WS で出された問題点	取組方針（案）	施策（戦略プロジェクト）（案）	【取組内容（展開方向）】
住みたいまち 【まちづくりの方向性】 都市機能や生活利便性の高い施設が集積し、快適に暮らせるまちなか	・公共施設が充実している ・小牧山の景観が良い ・図書館ができて文化的な街に変わろうとしている	・飲食店が少ない ・駅前が寂しい雰囲気 ・防災の拠点が見えない ・魅力的な公園の整備が必要	生活利便性が高く、快適に暮らせることができるまちづくり	2-1 まちなか居住（高度利用）の推進	① 居住希望者への支援策の検討（物件情報の提供など） ② 共同住宅建設事業者への支援策の検討（店舗複合型施設への補助等） ③ 子どもが安心して遊べる空間整備、子育て世代同士の交流が育まれる機会の創出 ④ 高齢者が生き生きと暮らしつづけられるまちづくり
				2-2 緑とやすらぎのあるまちの創造	① 駅西公園及び駅東公園の整備（防災拠点） ② ポケットパークの整備検討 ③ 公園や広場の有効活用を促進 ④ 既存公園や広場の改修を促進 ⑤ 民地緑化の推進（補助制度の検討）
				2-3 地域で支え合うまちの創出	① パブリックアートの設置 ② 中央図書館の活用と周辺空間との連携強化 ③ メナード美術館の周知や周辺まちづくりの推進 ④ 小牧市の文化や歴史を子どもたちに知ってもらえる活動（小牧山や上街道巡りなど）の推進 ⑤ 子どもが安心して遊べる空間整備、子育て世代同士の交流が育まれる機会の創出 ⑥ 高齢者が生き生きと暮らしつづけられるまちづくり

目指す姿 ／まちづくりの方向性	WSで出された魅力	WSで出された問題点	取組方針（案）	施策（戦略プロジェクト）（案）	【取組内容（展開方向）】
活力があるまち 【まちづくりの方向性】 特色のある店舗等が集積し、人々にぎわうまちなのか	・小牧駅周辺は利便性が高く住みやすい ・地域行事（山車祭等）が盛り上がる ・子育てがしやすい環境がある	・駅前に活気が乏しい ・空家のメンテナンスができていない。 ・空き店舗の需給バランスがマッチしない。 ・イベントする際のルールなど簡単にできないことが多い ・バリアフリー等、増える高齢者への対応が必要 ・市内や市外に移動するには公共交通が不便	新たな発見や出会いがあり、チャレンジを応援する、まちづくり	3-1 リノベーションまちづくりの推進	① 貸主と借主のマッチングの仕組みづくり ② 空き店舗のリノベーションに対する補助制度の検討 ③ 遊休不動産の利活用制度の検討 ④ 特徴のある店舗や人気店の誘致 ⑤ チャレンジショップ制度等の導入検討
				3-2 多様な人が主役となりにぎわいを生み出す環境の創出	① 公共空間のイベント活用における支援、行政手続きのワンストップ化 ② チャレンジショップ制度等の導入検討 ③ イベント開催やコミュニティビジネスの起業等にチャレンジする人材の育成 ④ 外国人も含めた多様な文化共生を活かしたにぎわいの創出 ⑤ 若い世代が関心を持ってもらえる若者が企画したマルシェやまち歩き等のイベント開催 ⑥ 飲食や休憩が出来るようなオープンカフェやパークレット等の設置 ⑦ 特徴的なテーマを持ったイベント開催による市民と観光客等の来街者との交流促進 ⑧ 高齢者が集える交流スペースの配置 ⑨ 公有地等を活用した簡易な飲食施設やキッチンカー等の立地誘導 ⑩ 多世代カフェやコミュニティカフェなど集える場づくりの推進
				3-3 利便性の高い公共交通ネットワークの充実	① 名古屋市や隣接都市間を連絡するバスネットワークの充実 ② 高齢者に優しい交通網の整備や仕組みの創出 ③ 木陰のあるランニングコースやサイクリングコースなどの設定 ④ 大規模駐車場整備やパークアンドライド推進、こまくるの本数増を検討する ⑤ 自転車シェアリングサービスの導入